埼玉ゆかりの選手頑張る　２０２２箱根駅伝

高校野球・箱根駅伝。若いアスリートの活躍は心躍る。

今年も観戦自粛の中１月２日往路３日復路、箱根駅伝が行われた。

圧倒的強さをみせたのが青山学院大学で完全優勝。埼玉勢は川越の東洋大学が４位、東京国際大学が５位、そして飯能の駿河台大学が１９位だった。駿河台大学は初出場ながら繰り上げスタートをすることなく１本のタスキをつないだことは立派だった。

選手のテロップが流れる。駒澤大学７区白鳥選手が埼玉栄高校、１０区の青柿選手は飯能羨望学園高。国学院の二区を走った伊地知選手は埼玉県立松山高校、駿河台大１区　清野選手が埼玉県立飯能南高校、５区永井選手が武蔵越生高と、埼玉ゆかりの選手には一段と注目をしてしまう。

「ヴィンセント選手のケガで１分のロスと山のぼりの苦戦があったがシード権をとれたことがうれしい」と東京国際大学関係者。

ニューイヤー駅伝では埼玉ゆかりの□HONDA□が初優勝。すがすがしい令和４年の幕開けを陸上トップアスリートが飾ってくれた。